

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



創立50周年 50th ANNIVERSARY

SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22年度 国際ロータリー 会長 シェカール・メータ 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 水村雅啓 「もっと夢をもっと奉仕を」
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 清水和之 「歴史を紡ぎ 未来へ繋ぐ」

第2327回 例会

2021-10-6

- ◎司会 市之瀬正靖 副会長
- ◎点鐘 清水和之 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ゲスト 今直子様(志木市教育委員会)
- ◎四つのテスト 西川和人 SAA

を初めとする、ロータリーの奉仕活動も、ままならない状況が続いてしまいましたが、過去、最大の、感染状況で有った「第5波」の収束により、10月より、ようやく緊急事態が、全面解除されました。

「会長挨拶」

会長 清水和之



しかしながら、決してコロナの感染が消えたわけではなく、今後も更に、「第6波」への感染拡大の懸念が心配される所でございます。

そこで、新たなる試みとして、9月29日(水)には内山・宮原会員のご協力にて、クラブとして初のオンライン例会が試験的に実施いたしました。

お陰様で、かなりの方々のご参加も頂き、概ね、無事に開催が出来たと思っております。ご協力頂きました皆様に、御礼を申し上げます。有難う御座いました。

今後も、オンライン例会を初め、ニューノーマルの時代に即した「奉仕と親睦」活動への対応や取り組みを、進めて参りたいと思っております。ご協力御理解の程、宜しくお願い致します。

皆さんこんにちは。本年も早いもので、お彼岸も過ぎ10月に入りまして、黄金色に染まりました田んぼの稲穂の上を、トンボがキラキラと飛び回る、秋の実りの光景が目浮かぶ季節となって参りましたが、皆様方に於かれましては元気で過ごしの事と思います。

さて、今、尚、コロナ禍の大変な時期が、まだまだ、今後も続くと思われまますので、どうか感染予防の上、体調等崩されませぬ様、ご自分の心身を第一に、楽しい事を見つけて頂き乗り切って参りましょう。

昨年度に引き続き、本年の50周年もコロナに翻弄され、感染予防の観点から、残念ながら8月9月の2ヶ月間、例会が休会となりました。更には、『みつばすみれ学園の夏祭り』

さて、2020年4月7日に、首都圏や大阪府など、新型コロナウイルス感染症の流行・拡大により初の緊急事態宣言が発出されて間もなく、1年半が経過いたします。長引くステイホームの生活で、コロナ太りや睡眠不足等に悩む、中高年が増えているとお聞きしています。そこで、本日は健康についてのお話をさせていただきます。

さて、2009年のノーベル生理学医学賞を受

賞されました、ブラックバーン教授らの、生命につかさどる研究等により、中高年の健康に大きく関わるのが、『睡眠』『運動』『食事』『ストレス』の4つの生活習慣であることが、明らかになりました。更には、『喫煙』『過度な飲酒』『塩分過多』等も、健康へのリスクが有るとして一般に知られるようになりました。

又、興味深いことに、日本で310年前に書かれた健康長寿の指南書「養生訓」の教えは、ブラックバーン教授らの研究成果に、極めて近いものが有り驚かされました。

「養生訓」とは、皆さんもご周知のとおり、福岡藩の儒学者「貝原益軒」が、江戸時代の1712年（正徳2年）に83歳で、自らの体験などに基づいて著した、健康長寿の指南書が「養生訓」です。養生訓は心身両面の養生を説いているのが特徴で、人の寿命を百歳としているそうです。

今日は、健康を支える4つの生活習慣に加えて、最近、志木市でも良く耳にします、健康リスクとなる2点について、ご紹介致します。まず、一つ目は、加齢に伴う生活機能の低下の一つである「フレイル」について、もう一つは、筋力低下のキーワードとして「サルコペニア」でございます。

皆さん、フレイルと言う言葉を耳にした事がありますか？ 最近、志木市役所でも（加齢に伴う活力低下）について、つまりフレイル予防をよく申しております。

フレイルとは、加齢に伴って免疫機能や運動能力や、認知機能などの様々な、心身の活力が低下し生活機能が衰えている状態を示す事で有す。

最後に【サルコペニア（筋力低下）】についてですが、加齢に伴う筋力低下（サルコペニア）に成ると転倒と骨折リスク以外に、更に、糖尿病などの生活習慣病の発症リスクと感染症リスクも数倍高くなります。詳細に付きましては、12月の疾病予防と治療月間で取り上げたいと思います。

皆様も、フレイルやサルコペニアのチェックを実施され、いつまでも健康で長生きして

いただきますよう、お願い申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。

それでは、本日「いろは子ども文化賞・絵画審査会」宜しく願い申し上げます。

「理事会報告」（10/6分） 会長 清水和之

1. 11・12月例会の件
 - 11/17(水) 卓話：R財団の卓話
担当：宮原俊介会員
 - 12/8(水) SDGsの卓話
 - 12/22(水) 年次総会
2. オンライン例会出席の件⇒出席とする
3. オンライン例会機材購入の件⇒購入する
4. 創立50周年記念の今後の計画説明の件⇒岩下会員より説明

「幹事報告」

幹事 國分 学



1. RI 日本事務局より 10月のロータリーレポート受信 1ドル=112円（9月は110円）
2. 地区事務所より 3件受信
 - ①地区研修セミナー開催の案内
日時：10月9日(土) 13:30～16:30
場所：国立女性教育会館(NWEC ニュエック) 講堂 (0493-62-6661)
 - ②第1回国際奉仕委員会 2021～22 セミナー開催案内
日時：11月28日(日) 点鐘 13:00
場所：ガーデンホテル紫雲閣 2F 鳳凰・高砂の間 (049-321-2571)
 - ③『ロータリー奉仕デーとは』受信
3. ロータリーの友事務所より 2021～22年度ロータリーの友の手引き受信

4. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま 258号(2021.9/14発行)受信
5. 比国育英会バギオだより 86号 2021年9月号受信
6. みつばすみれ学園夏まつり用装飾品の寄付の礼状受信
7. 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より「令和3年度親と子の市内まるとクリーン作戦 Part.2 川辺の清掃」の中止について受信
8. 埼玉県共同募金会志木市支会より令和3年度共同募金運動「職域募金」への協力について受信

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌委員会 榎本秀夫委員



『ロータリーの友』10月号記事紹介

【横組】

P5 『シェカール・メータ RI 会長のメッセージ』

「人生において奉仕に生きがいを見つけました。地球のよき住人として、他の人々やその地域社会を力を合わせて良くしようではありませんか。」

P16 『こんにちは！米山梅吉記念館です。』

創立 50 周年を迎えた米山梅吉記念館の活動内容や米山梅吉の年譜と付随する写真と説明が記載されていてとても興味深い内容です。米山梅吉は明治元年の年に生まれ、太平洋戦争の終戦の翌年に亡くなりました。まさに激動の中を生きてこられました。日米開戦の前年に東京ロータリークラブを解散せねばならなかったことを知り、梅吉

のつらい心情を感じました。

【縦組】

P4 『グローバルとローカル～現代世界の中的「地方再生」』

グローバルとローカル、それぞれの意味合いを述べています。ローカルの延長上にグローバルはあるべきであるとわかりやすく述べています。地域を活かすヒントが記載されていて興味深い記事です。

「誕生日祝」

親睦活動委員会 西浦建貴委員



8月1日 上野剛彦会員 8日 田中幸彦会員

22日 西川和人会員

9月9日 内田栄信会員 18日 末富啓道会員

10月4日 荻野光一会員 11日 島田直人会員

19日 星野博之会員 19日 高橋健一郎会員

26日 飯田富夫会員

第20回 いろは子ども文化賞 「美術部門」審査会

「卓話」

「令和3年度 いろは子ども文化賞

美術部門審査会にあたり」

志木市教育委員会学校教育課
指導主事 今 直子様

本日は志木ロータリークラブ例会の開催に際して、志木市教育委員会を代表して、ご挨拶申し上げます。

清水和之会長様をはじめ、志木ロータリークラブ会員の皆様には、日頃より、本市の教育に様々なご尽力をいただいていることに感

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■朝霞RC (火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店

■新座こぶしRC (水) 12:30~13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770

事務局 048-424-8178

2327-3◇

志木 RC 会報



謝申し上げます。また、いろは子ども文化賞に関しても、特段のご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いろは子ども文化賞は、志木の子どもたちに「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」を養い、「豊かな感性、表現力、創造性を育む」ために、平成14年4月に創設されました。おかげさまをもちまして、今年度で20回目を迎えることができました。

今年度も「志木の街」「夢」「絆」というテーマのもと、

作文部門 26点、

科学部門 397点、

写真部門 292点、

美術部門 164点、

そして田子山富士塚部門 141点

総計 1020点の応募がありました。

これまで、志木ロータリークラブをはじめとします地域の方々のご協力により、いろは子ども文化賞「美術部門」の優秀作品は、「ふるさと絵画集」という形で広く市民に親しまれてまいりました。

こうした作品集は、児童・生徒や保護者の方々にとりましても、大きな励みになるとともに、志木市内の小中学校図工・美術教育の発展にも大きな力となっております。これもひとえに、皆様のご支援の賜物でございます。

また、より多くの皆様に子どもたちの作品を紹介するために、例年、市民文化祭において入賞作品の展示を行っております。ご家族で来場される方も多く、作品を見ながら語ら



う様子は、まさに「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」が育まれているといえるような素晴らしいものでした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民文化祭との共催ではなく、いろは子ども文化賞単独での展示を10月30日、31日に行います。その際には、皆様にも作品展の様子をご覧いただけると幸いです。

改めて、本日ここに選ばれた美術部門の作品は、子どもたちの目線で「ふるさと志木」を見つめたものや、「夢」・「絆」をテーマに、想像豊かに表現されているものです。

優劣つけがたい作品ばかりですが、志木市の子どもたちが思い描く、夢や絆を感じていただきながら、ご審査いただければ幸いです。

結びにあたり、いろは子ども文化賞や学校での図工、美術教育を通して、心豊かな児童生徒を育むため、今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



最優秀賞は後日、志木市より発表・表彰されます

●出席報告 出席向上 星野博之委員

会員数42名 出席義務者38名 免除者4名

本日出席	本日欠席	本日出席率
36名	4名	87.80%

前々回 MU (5名中1名)	前々回修正出席率	平均出席率
	92.68%	93.90%

志木ロータリークラブ会報アーカイブ

2007年1月17日(西川武重郎会長年度)
第1707回例会会報より再録

5分間R情報

「実業界における米山梅吉さんの業績」

浅田光二 会員

日本のロータリーの創設者米山梅吉氏が、親しい人たちと語らって大正9年(1920)に東京ロータリーを創立したことは皆様が殆どご承知のことなので、それ以外に、米山さんが実業人としてどんなことをした人か？お話し致します。ただし時間が限られますので一つ二つだけをお話ししてみたいと思います。

昭和2年3月に「三井信託銀行」が創立され、米山さんは社長に就任されました。その年の8月に実は当時の日本の社会の中で革命的とも言える事をしました。それは、それまで日曜日だけが銀行の休日で、あとの6日間は朝から午後まで営業していたのを、土曜日は正午までという制度にしたのは米山さんでした。

今でこそ、「土・日」が休みで週5日制ですが、一般の銀行、信託銀行は土曜半休などは考えても見なかったのです。

これを実施したとき、米山さんは「銀行の仕事も日増しに忙しくなり、業務を正確に行なうためには、間断ない精励を要し、能率増進のためには従業員各自の健康を保つために、注意を払うことは当然必要なことである」と言って断行したといえます。この後他の銀行も翌昭和3年以降、次々にこの土曜半日制を採用したのだそうです。

もちろん、昼夜銀行などというのも戦前にはありましたが、戦後も相互銀行で夜7時までという形式もありましたが、当時としては、こうした革命的とも言える土曜半日営業制度を造った人が米山さんです。

また当時、理事をしていた三井合名会社の時局対策の一つとして公益事業に資することを目的として、当時の金で3000万円、今のお金で約1000億~数千億円と評価する人もいますが、これを資金として「三井報恩会」を設立(昭和9年4月)、医療・保健〔ガン・ライ病・結核〕等の対策費に提供されました。

これは三井の団琢磨が暗殺されたり、5・15事件など時局がらみもあるのですが、そこまでお話しすると長くなりますので省略します。

この「三井報恩会」も米山さんが初代の理事長でした。

また、現代にまで続く制度の「国民健康保険」制度にも深い関わりがあります。

今、2000年代になって、少子高齢化から、問題がいろいろありますが、戦前、国民健康保険制度の導入に苦心していた政府に協力して、その運営を研究し、組織作りに尽力したのも三井報恩会であり、昭和13年7月より国民健康保険が実施され現在に及んでいます。

その他、農業振興、学術研究の促進に尽力し、昭和19年9月に三井報恩会理事長を辞任するまで大変な活躍をされ、社会に貢献されたのであります。尚、同日付けで三井報恩会の評議員会長に就任されましたが、昭和21年の4月28日、現職のまま逝去されました。

本日は、あえてロータリーの米山梅吉先生については語りませんが、入会年度の浅い方々にも、米山梅吉氏を身近に感じてもらうため、銀行の土曜半ドンの由来や、国民健康保険等との関わりなどをお話ししてみました。



2008.7.30.

Shiki Weekly Archive